

修了式挨拶

今日は2020年度令和2年度の最後の日、修了式です。今年度は今日で終わり、今度4月に登校するときには、学年が一つ進みます。

今年度を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症が日本や世界の中心にありました。最初、この病気について、うつっていく力が大きいこと、肺炎という苦しい病気になること、死んでしまう可能性もあることから、全国の学校がお休みになりました。箕島小学校もお休みしましたね。

それから、病気についての研究が進み、マスクをすることや健康観察をすること、人との距離を取ることで、対策をすれば、学校生活ができることがわかってきました。

学校が休校になって、みんなと会えないことのさびしさを感じ、学校再開になって、学校で勉強することの楽しさを感じましたね。また、この病気の流行で、よくわからないものは、本当に怖いと思うこと、その怖さの前で、人間はどうしていくのがよいことなのか、考える一年間になりました。

この1年間、先生たちが本当に心から思ったことは「学校は子どもたちのためにある」ということです。休校中、皆さんの姿がない学校でお仕事をするのは、とても寂しかったです。

学校に皆さんがもどってきたとき、先生たちは、涙がでるほどうれしかったです。そして、勉強したり遊んだり運動したり、朝「おはようございます」という声を聞くことも、とてもうれしいことでした。さらに、みなさんは、音楽参観日で素晴らしい演奏をして、おうちの方々を元気にさせたり、マラソン大会で力を出し切ったり、中止になった運動会を復活させたり、素晴らしいパワーを見せてくれました。

どれだけ元気をもらったかわかりません。そのパワーを来年度につなげていきましょう。先生方みんなを代表して、みなさんに伝えたい言葉は「ありがとう」です。そして、校長先生として最後に、

児童のみなさん、先生方、おうちの方々、箕島の地域のみなさんに「ありがとう」と伝えて修了式のお話を終わります

2021年 令和3年 3月25日

箕島小学校長 古本 穂子